



2015-2016年度 R. I. テーマ



「篆刻」石崎 巖 会員



- ◆ 会長 木下 茂 ◆ 幹事 宮崎 繁幸
- ◆ 発行 会報委員会 4月担当 畠山

### 第2352回例会 4月5日(火)

- ◆ 点鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ 国歌斉唱
- ◆ ローターソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会

#### ◆ 会長挨拶

桜が満開となった先週末は、川べりや公園内へと大勢の花見客でにぎわいました。

今年は、例年より開花が早く富山の最高気温は5月下旬並みの23度となり、いっせいに花開きました。

日本人は昔から桜の下や眺めのいいところで楽しく過ごすという文化があり、それが今でもしっかり受け継がれているようです。

花見が盛んになったのは、江戸時代元禄の頃からです。江戸の花見と言うのは、寒い冬も終わり普段の各種の厳しい束縛の中で生活している庶民が日常から飛び出して羽を伸ばしリフレッシュする絶好の機会であったそうです。

来年オープンする富山環水公園の散歩道300mを桜の中で最も長寿とされるエドヒガンザクラを中心に富山のコシノヒガンザクラを含めて桜並木とするそうです。

松川、いたち川沿いの桜は、江戸時代の1831年の大火

で亡くなった人々を弔うためのものでした。

東日本大震災から5年を迎え節目と言うには早すぎるが、いまだ行方不明者2561人になり、自殺など震災に関わる死者は、増え続けています。

原発の汚染水対策や、廃棄物処理もまだ未解決です。

福島では数百年をかけ9万9千本の桜を植え、植物の命のつながりで、苦しく苦しい出来事を語りついで行こうという事かと思えます。

さて、今月は母子の健康月間です。鈴木先生の卓話で今月の例会のスタートとなります。

#### ◆ 出席報告 (南副委員長)

- ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 23名 82.14%
- ・欠席者 畠山君、窪田さん、関口君、横谷君、吉野さんの諸君
- ・前々回 (2350回) の修正  
久津谷君、三浦君 71.42%→78.57%

#### ◆ 幹事報告

- ロータリー日本財団より
  - ・財団室NEWS
- 日本ボーイスカウト富山県連盟助成会
  - ・「助成会だより」
- 国際ロータリー第2610地区ローターアクトより
  - ・第38回年次大会本登録のご案内

創立1968年 (昭和43年) 5月27日 [第2610地区内創立順位19]

例会：火曜日 12:30 於. にかわ信用金庫本店5F TEL(0765)24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL(0765)22-0715

○国際ロータリー日本事務局より  
・青少年奉仕月間 リソースのご案内

☆4月度例会案内

	活動内容	例会場
4/12(火)	卓話担当：地区協議会報告 Rの友・情報紹介	信金5階
4/19(火)	夜間例会	喜 楽
4/26(火)	卓話担当：南君	信金5階

★4月のSAA補助

扇谷君・加納さんの諸君です。よろしくお願ひします。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 470,500円

◆卓話「クラミジア感染症」



鈴木 潮君

性行為で感染する病気を性感染症といい、我が国では法律でクラミジア感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、淋病、梅毒、及びエイズの6つの病気が指定された医療機関から保健所へ届け出るよう定められています。

クラミジアは昔には目の結膜炎をおこすトラコーマの原因として知られていましたが、水道などの衛生環境の向上によって、近頃はあまりみられなくなっています。

若者の性の考え方は時代と共に欧米化してきましたが、1995年頃から特に大きな変化がみられています。以前は結婚前後の性行為が普通だったのが、結婚とは無関係の性行為が一般化し、また近年では不特定多数相手の性行為もめずらしくなくなってきました。

2002年に行われた調査では、中学卒業までに性交経験をもつ割合は約10%、高校卒業までには約40%に達しています。これらのことが若者たちのクラミジア感染の増加の大きな原因となり、社会問題にもなりました。15才～24才の若者を対象とした調査では、女性が85万人以上、男性では15万人以上がクラミジアに感染しているといわれており、男女合わせると100万人を越えているといわれています。

クラミジアは感染から発症までの潜伏期間が10日～20日間と比較的長く、症状は淋病よりも軽いことが多いです。クラミジアの症状は、女性では子宮頸管に炎症がおきるために帯下の増加がみられます。子宮頸管から卵管などの子宮付属器に炎症が及ぶと、下腹痛や軽度の発熱がみられます。さらに骨盤腹膜に拡がると強い腹痛や発熱がみられるようになります。卵管に炎症がおきた場合には、そのために卵管の通過性が悪くなって、将来不妊の原因になる可能性があります。妊娠中の30週（8ヶ月）

の時に全員クラミジアの検査をします。妊娠中の感染は約5%といわれており、流産や早産の原因になることもあり、また産道感染によって、新生児の結膜炎や肺炎を発症することもあります。

男性では尿道炎がおきて、排尿時痛や尿道から分泌物が出たりします。進行すると副睾丸炎をおこすこともあります。

オーラルセックスによって男女共に咽頭炎がおきることもあります。

ただ、男女共に感染しても無症状のことも少なくなく、このことがクラミジアが蔓延する大きな原因にもなっています。

クラミジアの感染によって、炎症により性器の粘膜が弱くなって、エイズウイルスが侵入し易くなるために、クラミジアの流行がエイズ感染の増加につながる危険性も指摘されています。

検査方法は、女性では子宮頸管から、男性では尿道から分泌物を直採取して、クラミジア抗原を検出する方法が一番確実です。他には血液検査でクラミジア抗体をしらべる方法もあります。この検査は10年余り前から厚生センターに申し込めば、匿名・無料で受けることができます。治療はクラミジアに有効な抗生物質を投与すれば治ります。

富山県内の中学生を対象としたある意識調査で、性行為をどう思うかという問いに対して、約30%が「中学生でもよい」と答えていて、その理由として「好きなら、愛しているならよい」とするものだそうです。

性に関する情報が携帯やインターネットなどを介して誰にでも容易に手に入れることができる現状では、学校・保健行政・医療機関が連絡を密にして性教育活動を行ってゆくことが大切だと思われます。

第2353回例会 4月12日(火)

- ◆点鐘 木下 茂 会長
- ◆司会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

🎉 ハッピーバースデー 🎉

・4月17日 吉 田 夫人

◆会長挨拶

新年度に入り業界各社の新組織がスタートし年度計画、新指針が示されています。

4月に入ったとたんに、円高が進み株価が7営業日続落です。

内閣府が発表した景気動向指数も低下し企業業績に急ブレーキがかかっているようです。

私共の関わっている情報通信の業界も北陸3県の携帯電話契約の人口普及率が100.4%と初めて100%を超え302万件となりました。

NTTは鬼門の北米への再挑戦です。

経営再建中のシャープが台湾の鴻海（ホンハイ）精密

工場の傘下に入ることが決まりました。

東芝は、家電部門を中国の美的集団に売却し日本の電機大手がアジア企業傘下に相次いで買収される事態になっています。

日本は、市場が縮小しているのに事業所、店舗数が多いから統合か相手を食うか食われるかの状況かと思われまます。

豊かな今は買いたいものは多くない。若者が金を使わず車を買わないと言われていますが時代の流れなのかもしれませぬ。

#### ◆ 出席報告 (鈴木委員長)

- ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 19名 67.85%
- ・ 欠席者 芦崎さん、石崎君、窪田さん、慶野君、小林君、牧野君、南君、宮田さん、横谷君の諸君
- ・ 前々回 (2351回) の修正 なし

#### ◆ 幹事報告

- 第2610地区ローターアクトより
- ・ 第38回年次大会本登録のご案内
- 2015-16年度国際ロータリー会長より
- ・ 2015-16年度会長賞に関する最新情報
- 国際ロータリーより
- ・ ロータリー：ブランドリソースセンターに関する重要なお知らせ
- 青少年育成魚津市民会議より
- ・ 桃山運動公園周辺ボランティア清掃参加依頼について
- 国際ロータリー第2610地区ガバナーより
- ・ ベルギー短期交換プログラムについてのお願い

#### ☆ 4 月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
4 / 19(火)	夜間例会	喜 楽
4 / 26(火)	卓話担当：南君	信金 5 階

#### ★ 4 月の S A A 補助

扇谷君・加納さんの諸君です。よろしくお願ひします。

#### ◆ ニコニコボックス

今週までの合計額 473,500円

#### ◆ 卓 話 「地区協議会報告」



三 浦 茂 君

地区研修協議会に出席して

4月10日に砺波市文化会館にて、地区研修・協議会が開催されました

私は、午前中から次期クラブ長会議からの出席で、地区目標・数値目標及び予算についての説明がありました。

午後からは、全体会議が行われました。

セレモニー終了後、基調講演がありました。

基調講演は、パート1「戦略計画とクラブの活性」パート2「世界で良いことをしよう。創立100周年を迎えるロータリー財団」の講演がありました。

分科会は、1～4分科会があり、私は第1分科会に出席しました。

第1分科会のテーマは、「クラブの強化と継続性」で、元気で明るいクラブを育てるには、どうすれば良いかという話がありました。

問題点を3点あげて話が進んでいきました。

1は、例会時間について、時間帯の変更、食事時間を例会前に行い例会の充実をはかる。

2は、年会費の問題です。かほくRCの事例として、新入会員の一定期間を食事代を外して月10,000円の会費で、会費に対する抵抗を少なくして、入会者を増やす。かほくRCでは、14人から24人に増やせたそうです。

3は、女性会員を増やす。世界の女性会員比率は、世界平均19.92%、日本5.34%、台湾30.78%、インド8.8%になっており非常に少ないとの報告がありました。

後は、クラブの実情に合わせて、委員会数を絞り込む。

クラブの細則は、毎年でも変え、クラブの活性化をはかる。

中長期を見据えた委員会を設置して、クラブの継続性を促すなどの話がありました。

会員拡大強化委員長からは、かほくRCの補足説明と奉仕活動と広報活動をセット化して地域の認知度を上げる。オープン例会で、体験してもらうなどの話がありました。

職業奉仕委員長からは、富山みらいが行っている「ロータリーの基本を知る勉強会」の報告がありました。

米山記念奨学会からは、米山奨学会を知ってもらうのは、奨学生に卓話してもらうのが一番の方法なので、是非卓話依頼をしてもらいたいとのことでした。



久津谷 俊行君

#### 第3部会テーマ「公共イメージの向上と実践」

「公共のイメージを高めていくこととはどういうことか」ということで協議がなされた。「ロータリーとはなにか」「ロータリーは何をしているのか」「ロータリーとはどういう集まりなのか」など、ロータリーの役割がいまひとつ世間一般に知られていないのではないかとということを見直していく必要がある。

ロータリーは良いことをしているのだから、世間にもっと知ってもらってもいいのではないかという視点から、

広報活動をしてロータリーのイメージを高め、内容を知ってもらうことが大切である。

その方法として、地元のメディアを活用する—地元メディアによる報道の推進をはかる—ことを考えてもいいのではないか。これは別の言い方をすれば「ロータリーのファンをつくる」ということでロータリーの活動を知ってもらうことである。それがまた、「よいことをする仲間を増やす」ことにもつながり会員増強にも一役買うことになるのではないか。

各クラブ単位で是非、広報に力を入れてほしいということが説明された。

また、マイロータリーに登録して、地区の活動を知らせてほしいという説明があった。ウェブ上で登録できるので一人でも多くの会員に参加してほしい。

「マイロータリー」登録のアドレス  
[「rpjicjapan@gmail.com」](mailto:rpjicjapan@gmail.com)

件名の入力を要求してくるので「詳細希望」と入力して、空メールで送信すれば返事が来るようになる。そのあとはメッセージに従って進んでほしい。

以上、地区研修・協議会の報告といたします。

国際ロータリー第2610地区 地区研修・協議会に参加して  
**窪田 琴美さん**

全体会と、分科会では第4（3年未満の会員）『ロータリーの魅力について』に、参加して参りました。20代もいる若い年齢の方々が目立つ分科会でした。メモをしきりに取る方、しっかり質問する方と元気な会場でした。魅力のお話をされた中で、ゆでガエル現象のお話は自分が今、最優先している仕事へのさらなる威力をいただきました。又、「ロータリーを楽しむ」と言われた言葉には、我魚津西ロータリーに掲げられている書が頭に浮かび、自分が選んだ環境が間違っていないかとも思いました。それは、自分が全然！ロータリアンの器では無いと悩んでいましたから…。しかし、今回の広い集まりにて、この環境にいることが志すことに歩め、豊かな日本に住む一人として出来ないことはない、とも感じ、できることに感謝と思いました。

尊敬するロータリアンの方々の姿を目指し、奉仕の心をもって、ロータリーを楽しませてもらおう

「参加してよかった～」と感じさせていただきました。

## 第2分科会の報告 南 勇 人 君

テーマは「人道的奉仕の実践」とし各委員長から事業の説明がありました。

### 社会奉仕委員会 西委員長

- ・他の委員会と連携して奉仕活動が可能か検討したい。
- ・地区社会奉仕委員会の一層の活性を図り、多くの実行可能な事業計画を創造したい。
- ・財団100周年を機会として財団補助金を活用した事業を進めてもらいたい。

### 国際青少年交換委員会 慶野委員長

- ・この事業は青少年に夢と希望を与える事が出来ます。
- ・安心して留学でき、また費用も安いなどロータリーでなくては出来ない。
- ・留学してその国の文化や人と交流し理解する事で「人道的奉仕の実践」につながるのではないか。

### ローターアクト委員会 川腰委員長

- ・地区社会における様々なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じてより良い信頼関係を推進するための機会を与える。
- ・提唱クラブ数も限られメンバーも減少傾向にあります。この状態を打破できるように一層のご理解とご支援をお願いします。

### インターアクト委員会 加藤委員長

- ・年次大会では地域青少年奉仕部門の委員会の参加を呼びかけ又、年次大会・地区協議会では多くのロータリアンの参加を呼びかけ活動への理解を求め。
- ・活動事例の発表など通じてプレゼン能力を高める。
- ・海外研修の実施を行いインターアクトの理解・異文化交流・各国の親善の機会を作る。

### 国際奉仕委員会 松本委員長

- ・本年度は世界社会奉仕委員会と友情交換委員会がまとまって国際奉仕委員会が構成されます。
- ・本年度も「書き損じハガキ」による募金活動を実施する。
- ・クラブで実施されている世界社会奉仕事業の例や、ロータリー財団の補助金を利用した事業の例などをとりまとめ各クラブに情報の提供・支援を行いたい。
- ・今後他クラブと交流を深めたいと考えているクラブの参考になるような資料をまとめる。

他の意見としてもっと若者がロータリーに入会しやすい環境を整えたらどうかという意見が出ました。例えば例会をもっと出席しやすい時間帯に変更するとか、食事を見直し会費を安くするなど意見がでました。